

Golden Age Project PRE-73 MK IV



取り扱い説明書

(株)アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

Golden Age Project / PRE-73 MK IV

PRE-73 MK4 は1ch ビンテージスタイルのマイク/ライン/楽器用のプリアンプです。お求めやすい価格設定ながら、信号パスはオールディスクリット構成、入出力にトランスフォーマーを採用したバランス回路、すべてが贅沢なビンテージ機器と同等に組み上げられています。

近年のマイクアンプデザインの主流であるインテグレートデザインは、小さく安く便利で多く生産されていますが、そのサウンドは皆が求める美しいサウンドではありません。特にクリーンなデジタルレコーディングにおいてはその傾向が顕著で、多くのミュージシャンやエンジニアは古き良きアナログ時代の、リッチでシルキー、かつ雄大なビンテージサウンドを求めてやみません。

PRE-73 MK IV はクラシック&ビンテージ NEVE 1073 モジュールのプリアンプと同等の回路設計となっており、たいへんに音楽的で、温かいパンチ感とスイートな質感のサウンドキャラクターを持っています。このクラシックなサウンドキャラクターは私たちが数多くの素晴らしいレコーディングで耳にしてきたサウンドそのものであり、どんなサウンドソースやジャンルにも普遍的な安心感のあるアナログサウンドを提供します。

GAP(Golden Age Project)ではこの憧れのサウンドを、驚くべき価格で全ての人に提供します。



USING PRE-73 MK IV

PRE-73 MK IV を使用して最大のパフォーマンスを引き出すポイントを上げてみます。

- AC24V の AC アダプター（付属）、または別売の外付け PSU ユニットから電源を供給します
- フロントパネルの電源スイッチをオンにします
- XLR/TRS のコンボジャックに XLR またはフォンジャックを接続してライン、またはマイクのサウンドを入力します。マイクとラインソースは同時に接続することも可能です
- MIC/LINE のゲイン位置はゲインスイッチに表記されています。
- もし倍音を抑え、カラー少なくマイクの音を増幅したいときには、アウトプットのボリュームを最大位置付近で設定し、Mic/Line のゲインスイッチで全体のレベルを調整してください。
- もし倍音を多めに全体のキャラクターと色付けを強めに調整したい場合には、Mic/Line のゲインスイッチを高め、アウトプットのボリュームを絞り気味に設定してください。より強く入カステージでドライブした、倍音がリッチなビンテージサウンドになります
- さらに強い色付けとキャラクターを実現するには、アウトプットのボリュームも同時に高く設定します。倍音と歪み感がさらに増し、力強い、ファットなアナログサウンドになりますが、同時に滑らかでスムーズな NEVE サウンドです。
- 出力段と出力トランスをオーバードライブさせてさらにキャラクターを高めたい場合や、基準レベル (+4dB) を下げて出力したい場合は、-14dB PAD を使用してレベルを適切な値に下げることが可能です。
- GAP の PRE-73MK IV は基準レベルが+4dB で設計されています。出力レベルが 600 オームのロードで 1.23V の時に VU メーターの 0 位置が点灯します。
- 楽器を入力する場合にはフロントパネルに 100k オームのハイインピーダンス楽器入力 (TRS フォン) が用意されています。この入力を有効にするには DI スwitch をオンにします。DI 入力はゲインスイッチのマイクポジションでゲイン調整します。リアパネルのマイクとライン入力も同時に接続された状態になります。
- コンデンサーマイクを使用する場合には 48V ファントム電源のスイッチをオンにしてください。機器を守るためにマイクの取り外しは 48V スwitch を操作してから 10 秒以上経ってから行ってください。
- LOW-Z スwitch をオンにすると、マイクの入カインピーダンスを通常の 1200 オームから、300 オームに変更します。この事でマイクのトーンとサウンドシェイプを変えることができるので、よりバリエーションの多いサウンドメイクを可能にします。また通常ですと全体のレベルも大きくなります。
- PHASE スwitch はサウンドの位相を反転させます。マルチマイクの録音時にたいへん有効です。たとえばスネアドラムの上下に 2 本のマイクを使用するときなどに片側の位相を反転させます。
- リアパネルにはアンバランスのインサートジャックを用意しました。マイクプリに他の EQ やエフェクターをインサートすることができます。通常はこの端子には GAP の EQ-73 をインサートします。

オペレーティングレベルは-18dBu で、センド=Tip、リターン=Ring となっています。

- 出力トランスフォーマーは 600 オームロードでも使用することができます。入力インピーダンスは 10k オーム以上です。本機を 600 オームでターミネーションしたい場合には XLR 出力ジャックのちょうど裏側（内部）にある JP1 ジャンパーを外します。低いインピーダンスをもったビンテージ機器と本機を組み合わせたい場合などにお試しください（詳細は弊社技術までお問い合わせください）。

mk3 からの変更点

- 出力 PAD スイッチを追加 : 0 と-14dB の 2 段切り替え (PAD ON/OFF)
- HPF 周波数の変更 80Hz または 200Hz
- 出力 600Ω ターミネーション 搭載 (内部基板上的ジャンパで設定可能)



#